

# 三重自然誌



第16号

---

2020.12

三重自然誌の会

# 目 次

---

坂手島の蝶及びその他の昆虫 .....	中西元男	1
いなべ市の甲虫類 .....	横関秀行	8
桑名市の甲虫類 .....	横関秀行	21
四日市市の甲虫類 .....	横関秀行	38
菰野町の甲虫類 .....	横関秀行	51
三重県青山高原と周辺の甲虫類 .....	横関秀行	68
津市美杉町の甲虫類 .....	横関秀行	76
鳥羽市島嶼の甲虫類について II .....	横関秀行	83

---

## 表紙写真解説

### ～ 回復する野生－坂手島 ～

伊勢湾口の有人4島のうち、坂手島は本土にもっとも近い島である。一番遠い神島とは、地形や面積がほぼ同じであることから、本土からの距離が生物相に及ぼす影響について知るのには絶好のフィールドである。坂手島は、集落以外はうっそうとした常緑広葉樹林となっているが、林内には石垣や水瓶等が散見される。表紙の昭和30年頃に撮影された島の写真では、頂上まで畑であることから、その名残であろう。60年の時を経て緑豊かな島となった坂手島。他の島々も同様な状況であるが、島に限った事象ではない。人工が衰退して、野生が回復するのは日本全国共通の現象である。

写真・文／清水善吉